

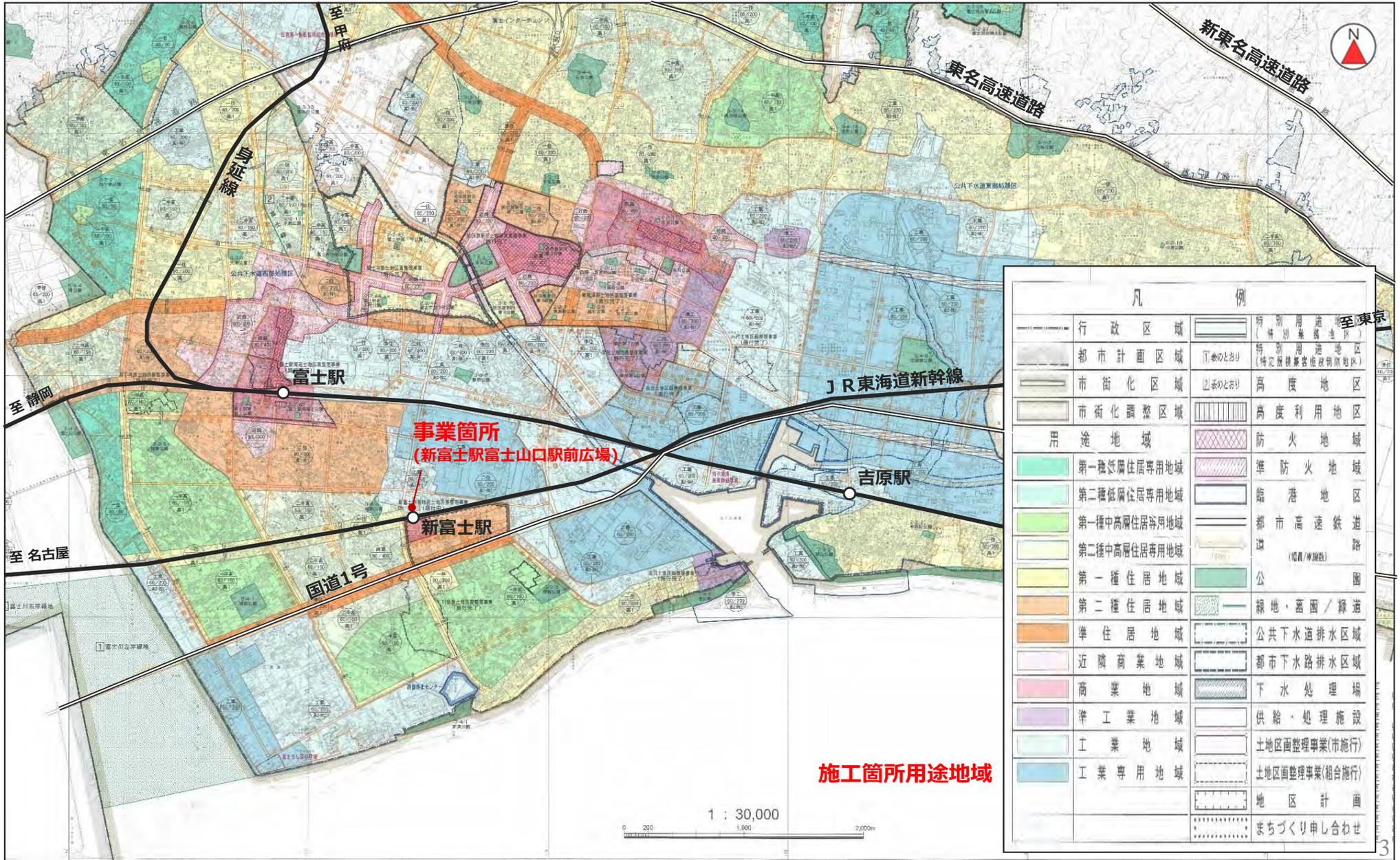
事業概要

応募No.	12		
事業主体	静岡県富士市	実施都市名	静岡県富士市
応募者名	富士市都市整備部市街地整備課		
ふりがな 事業名称	しんふじえきふじさんぐちえきまえひろばせいびじぎょう 新富士駅富士山口駅前広場整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>JR新富士駅(富士山口駅前広場)は、富士市をはじめ近隣市町の玄関口として昭和63年に開駅し、全国各地との交流に欠かすことのできない交通結節点として、多くの方に利用されてきました。しかしながら、開駅から約30年が経過し、バスの利用状況の変化や、一般送迎用駐車場の駐車待ち車両の渋滞、さらにその渋滞の影響によりタクシー乗降場へタクシーの発着が出来ないなどの安全性・利便性に関わる問題が生じていたことから、これらの問題を解決することを目的にリニューアル工事を実施しました。工事は極力既存施設を利用できるよう最適な配置を検討するとともに、工事中も駅前広場の利用・乗継ぎが円滑に出来るよう、乗降場などを随時変更し、部分的に工事を進めました。主なリニューアルポイントは1.路線バス乗降場のロータリー化、2.一般車駐車場の増設、3.乗降場等のバリアフリー化、4.通路屋根の設置などを行いました。</p>		
事業規模	事業延長	8,000m ² (事業面積)	
	幅員	43.06m～55.04m	
	事業期間	平成29年度～平成30年度	
	事業費	約2.92億円	

事業位置図



都市計画図(用途地域図)



凡 例	
行政区域	特別用途地区 (特別業務地区)
都市計画区域	特別用途地区 (特定用途地区)
市街化区域	高度地区
市街化調整区域	高度利用地区
用途地域	防火地域
第一種低層住居専用地域	準防火地域
第二種低層住居専用地域	臨港地区
第一種中高層住居専用地域	都市高速鉄道
第二種中高層住居専用地域	道 (職員/準職員)
第一種住居地域	公園
第二種住居地域	緑地・園田/緑道
準住居地域	公共下水道排水区域
近隣商業地域	都市下水路排水区域
商業地域	下水処理場
準工業地域	供給・処理施設
工業地域	土地区画整理事業(市施行)
工業専用地域	土地区画整理事業(組合施行)
	地区計画
	まちづくり申し合わせ

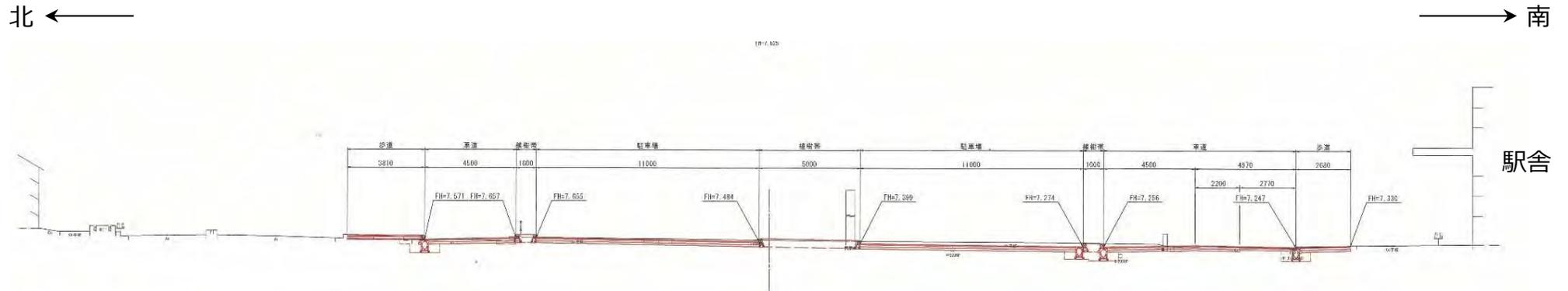
施工箇所用途地域

1 : 30,000

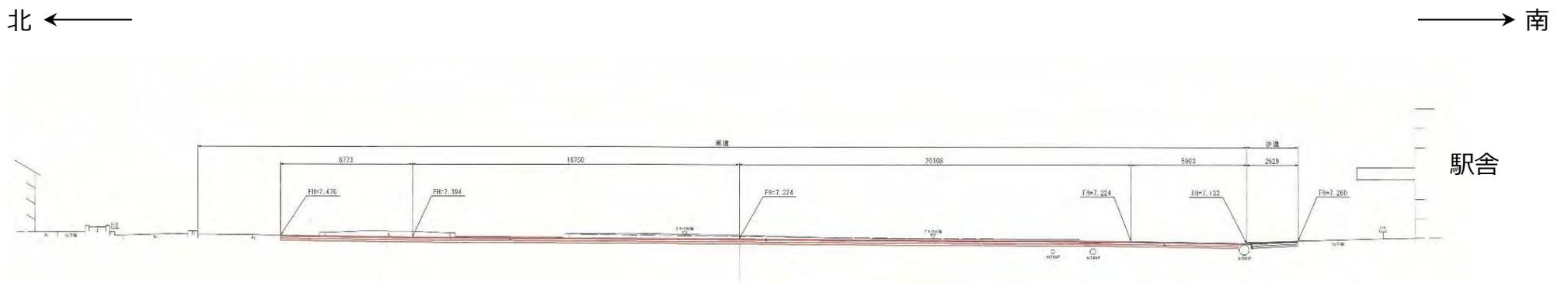
0 200 1,000 2,000m

横断図

横断① (一般送迎用駐車場付近横断図)

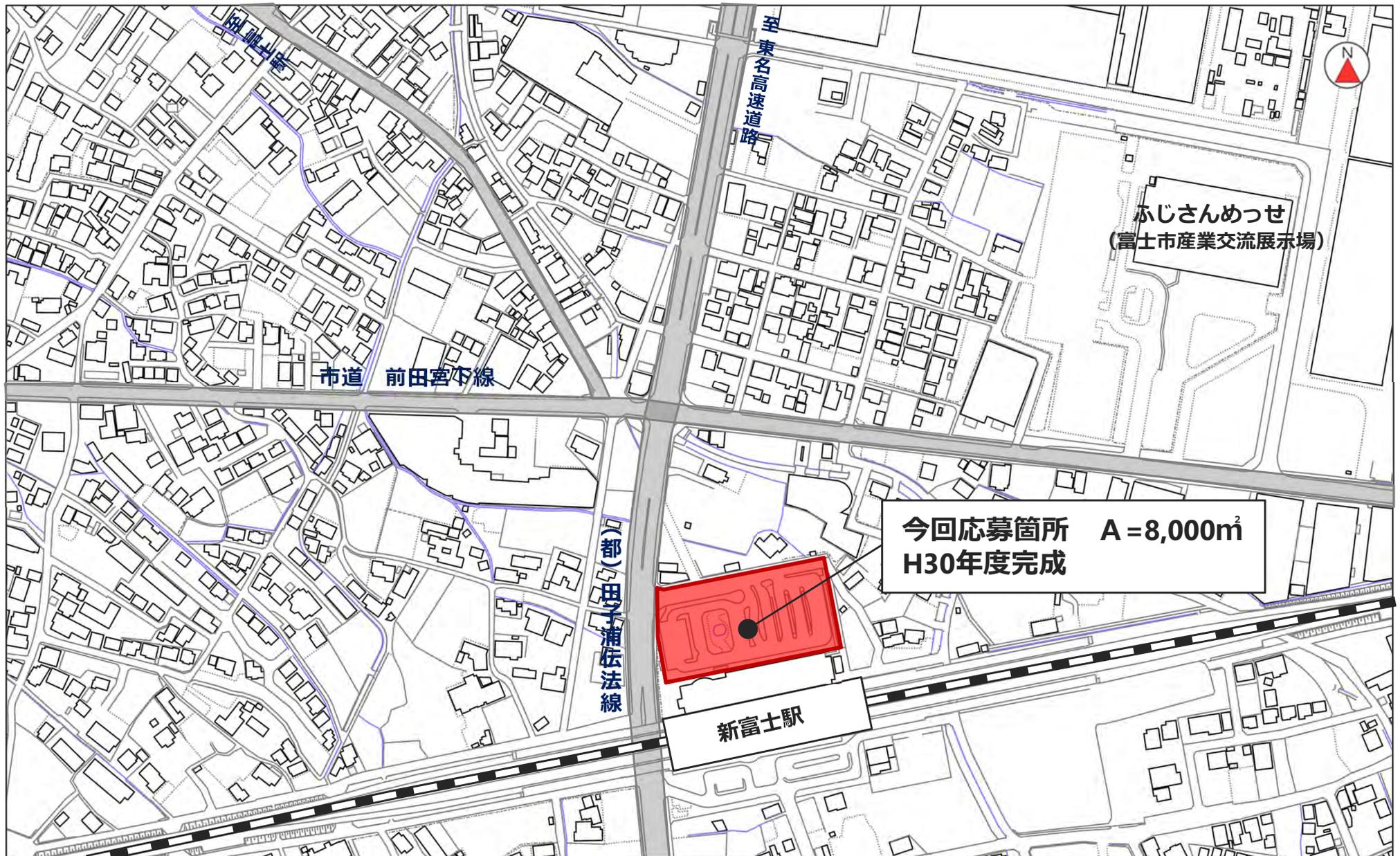


横断② (タクシープール付近横断図)

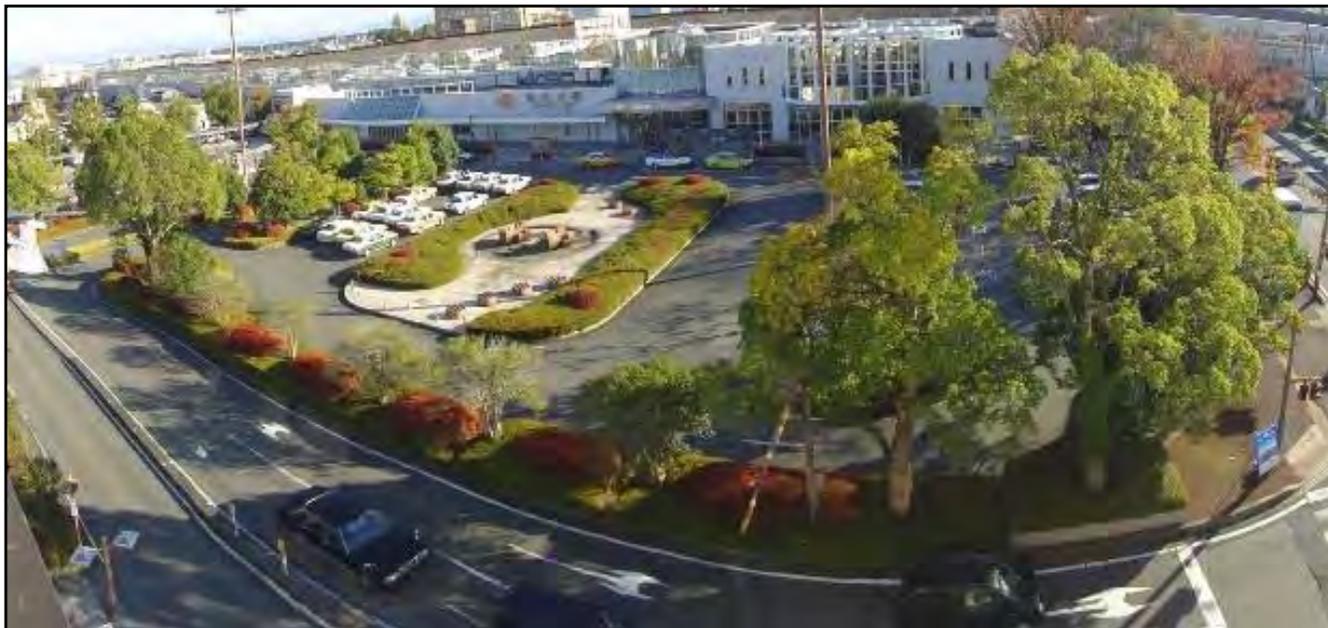


※赤線部分が整備後断面

路線全体の進捗状況



事業前写真



平成28年11月28日 撮影

事業後写真



令和元年6月14日 撮影

事業前写真



平成28年3月撮影

航空写真

赤枠内が事業箇所



平成28年10月18日
撮影

駅前広場
南東→北西を撮影



平成28年10月18日
撮影

駅前広場
南西→北東を撮影

事業後写真

(新富士駅富士山口駅前広場整備事業)



平成31年3月 撮影

航空写真

赤枠内が事業箇所



令和元年11月5日
撮影

駅前広場
南東→北西を撮影



令和元年11月5日
撮影

駅前広場
南西→北東を撮影

事業効果アピール資料

新富士駅富士山口駅前広場が交通結節点であることと近隣市の玄関口であることを意識し、利便性・安全性・景観の向上に配慮し事業を実施した。

利便性の向上

- 効果1 一般送迎用駐車場の駐車待ち車両発生回数が減少した
- 効果2 降雨の際も移動（歩行）が便利になった
- 効果3 バスの利用が便利になった

安全性の向上

- 効果4 通行時（車両）の安全性が向上した
- 効果5 乗降時の安全性が向上した

景観の向上

- 効果6 富士山の眺めが良くなった
- 効果7 広場が華やかになった

利便性の向上

Convenience

効果1 一般送迎用駐車場の駐車待ち車両発生回数が減少した

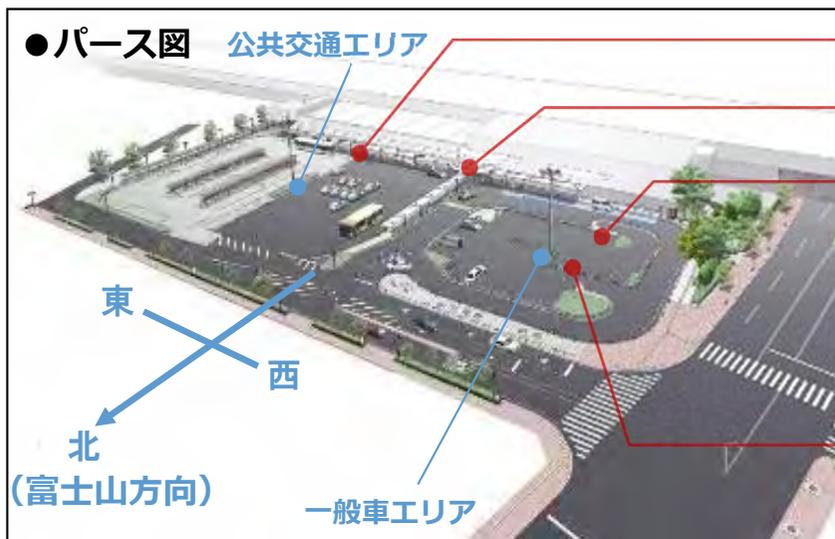
- ・一般送迎用駐車場を整備前より増設することと駐車システムを導入したことで、平日においては駐車待ち発生回数が7回から0回へ減少した。さらに、土曜日においては駐車場駐車待ち時間が最長39分間であったものが、6分間へ減少した。

効果2 降雨の際も移動（歩行）が便利になった

- ・整備前についても一部通路屋根が設置されていたが、今回の整備で新たに通路屋根を設置したことで降雨の際、駅・バス乗降場・タクシー乗降場・一般車乗降場を濡れずに行き来出来るようになった。

効果3 バスの利用が便利になった

- ・今回の駅前広場の整備にあわせ、民間事業者（バス事業者）と協働し、バスロケーションシステムの導入を行ったことでバスの現在地（遅延等の表示）や時刻表（番線・行き先等の表示）がリアルタイムに表示されるようになった。



バスロケーションシステムの導入

通路屋根の整備

駐車場システムの導入

一般送迎用駐車場の増台

バスロケーションシステム ▼



事業開始前パースのため、完成時は若干の変更あり。

※効果1の調査については、平日は平成27年7月8日と令和元年9月25日のデータを、土曜日については平成27年9月26日と令和元年9月28日のデータを比較したもの。

安全性の向上

Safety

効果4 通行時（車両）の安全性が向上した

- ・整備前は、一般車と公共交通（バス・タクシー）の導線が混在し危険があったため、今回の整備で一般車と公共交通のエリアを分離することで安全性が向上した。



◀ バス乗降場のマウントアップ

効果5 乗降時の安全性が向上した

- ・新設したロータリー形状のバス乗降場については歩道部をマウントアップし、タクシー・一般車の乗降場については段差がない歩車道境界ブロックを採用し、舗装についても排水性舗装を採用することで安全性が向上した。



◀ タクシー乗降場の段差のない歩車道境界ブロックと排水性舗装（一般乗降場も同様）

景観の向上

Landscape

効果6 富士山の眺めが良くなった

- ・整備前は、駅前広場に樹木が生い茂り富士山の眺望を阻害していたが、整備に合わせ樹木を取り除き駅前広場からの富士山の眺望を確保し、富士山の撮影スポットも設置した。



◀ フラワータワーと富士山

▼ 富士山ビュースポット



効果7 広場が華やかになった

- ・駅前広場に、富士市民の花である「バラ」の植栽を行うとともにフラワータワーやフラワーポットへ四季の花を植栽することで駅前広場に彩を添えた。



◀ フラワーポット（柱に取り付け）と植栽されたバラ

苦労や工夫等アピール資料

本工事箇所は、不特定多数の方が様々な交通形態（バス、タクシー、一般車、歩行）で来場し、さらに乗換えが発生する箇所であることと、繁忙期（GW・お盆・年末年始等）による影響が非常に大きな場所であり、既存の駅前広場の機能を確保しつつ工事を進めることが非常に苦労し、工夫を施した箇所である。

施工前

● 工事の周知・徹底

不特定多数の方が駅前広場を利用することをふまえ、工事施工前に工事を行う事を広く周知できるように以下のような工夫を施した。

- Point1** 工事ポスターを作製し、市内の公共施設へ掲示をお願いし、隣接市へもポスターの掲示を依頼した。
- Point2** ラジオへ出演し、工事の周知を実施した。
- Point3** 市の広報誌及び隣接市の広報誌へ投稿した。
- Point4** 市のホームページで工事の周知を実施した。

● 段階的な工事工程図の作成

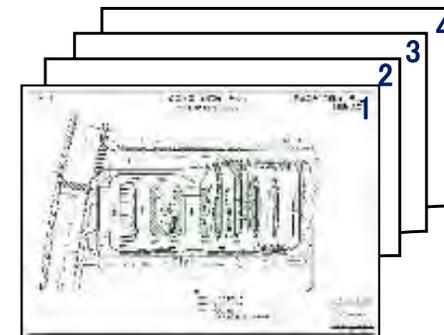
工事中であっても利用者が円滑に駅前広場を利用できるよう、段階的な工事工程図を受注者と協議し作成した。

- Point1** 各交通の導線についても詳細を記述した。
- Point2** 交通事業者の意見も聴取し、工程図の修正等を行い、より現実的な工程図を作成した。

工事ポスター



広報ふじへの掲載



工事の各段階での工程図

苦労や工夫等アピール資料

施工中

● 場外臨時駐車場の設置

GW・お盆・年末年始の繁忙期に利用者が増加することを見越し、駅前広場外の他事業用地を利用し臨時駐車場を設置することで利用者へ配慮した。

- Point1** 臨時駐車場の設置にあたり、区画ロープを設置した。
- Point2** 市のホームページで周知をした。
- Point3** 駅前広場内にも複数の案内看板を設置した。
- Point4** 広場内が混雑している時は交通誘導員が案内チラシを配布した。

● 段階的な駅前広場の供用開始

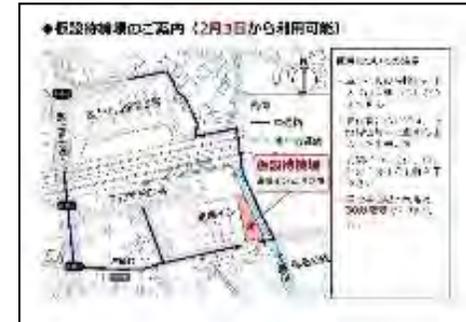
工事工程図どおりに段階的に工事を実施し、段階的に供用開始して行く事でスムーズに新たな駅前広場の利用に移行が出来た。

- Point1** 特に一般車については整備前の駅前広場と出入口が変わったため、最初に一般車エリアの工事を概ね終わらせ供用開始することで早い段階から整備後の駅前広場に慣れてもらった。

臨時駐車場



案内チラシ



臨時駐車場案内看板



一般車エリア工事完了時



一般車出入口の位置はほぼ最終形態へ

